

組織現勢 (10月1日現在)

組合員数 24,592 世帯
 出資口数 89,959 口
 9月の新規加入 14 世帯
 9月の増資口数 81 口

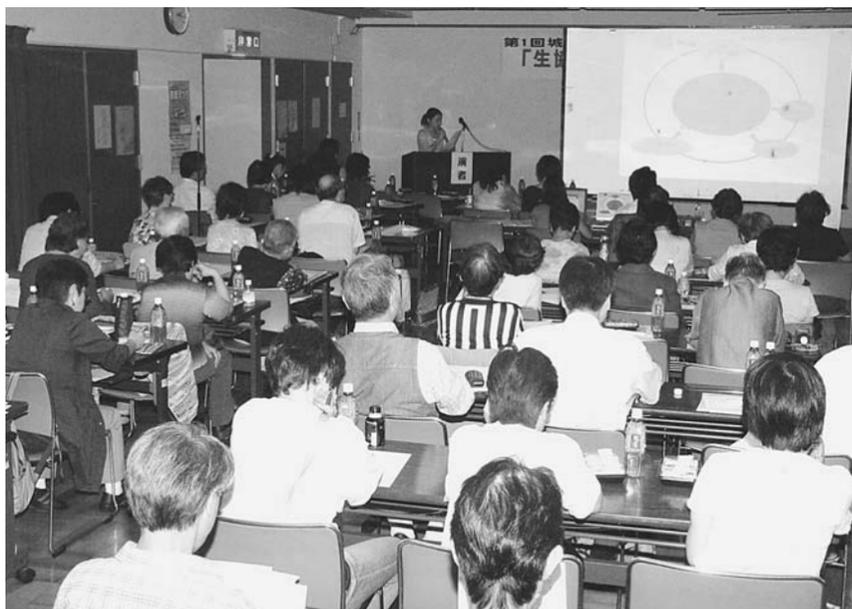
No. 324 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座(普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

仲間増やし月間にむけてのステップ 第1回 城南3法人 生協組合員活動と医療・介護活動交流会

仲間増やし月間は10月1日～11月30日の2カ月です。この2カ月間で多くの組合員を増やして「誰もが安心して住みつけられるまちづくり」の輪を広げましょう。



さまざまな活動が報告されました

9月19日(土)、大田区消費者生活センター大集会室で『第1回生協組合員活動と医療・介護活動交流会』が開催されました。この交流会は、①組合員と職員との交流の場として、②生協組合員と職員の実践活動(医療・介護・社保・平和活動)を発表しあい、③共同の営みを理解する場として、④安心して住み続けられるまちづくりを一緒に考える場として、⑤生協強化月間成功へ向けたステップの場として行われました。

交流会では組合員と職員の中から13人の演題発表がありました。田歯科の2つを紹介し、大

9月19日(土)、大田区消費者生活センター大集会室で『第1回生協組合員活動と医療・介護活動交流会』が開催されました。この交流会は、①組合員と職員との交流の場として、②生協組合員と職員の実践活動(医療・介護・社保・平和活動)を発表しあい、③共同の営みを理解する場として、④安心して住み続けられるまちづくりを一緒に考える場として、⑤生協強化月間成功へ向けたステップの場として行われました。

交流会では組合員と職員の中から13人の演題発表がありました。田歯科の2つを紹介し、大

- 演題**
- 介護ショップらくだのとくみ
介護ショップらくだ 小川 一八
 - グループホーム虹の家のとくみ
みちづか所長 綿貫有三子
 - 定年退職後はボランティア活動を
大森・糀谷支部 石川 八郎
 - 自宅療養生活の継続を希望する独居・認知症患者との関わりを通して
ゆたか診療所看護師 土井・齋藤・小坂
 - 地域に広がるまちかど健康チェックのとくみ
海岸八潮支部・看護師 神田 瑞穂
 - リハビリテーションってどんな仕事?
大田病院リハビリテーション科 澤田香奈子
 - 紹介します。大田病院の看護活動
大田病院総看護師長 黒沼 浩子
 - 若返り班の健康づくり活動
大田病院副看護部長 大澤千恵子
 - 素敵な笑顔に出会えて
大森西訪問看護ステーション看護師 小川 律子
 - 大田歯科における往診活動
大田歯科医師 疋田 博昭
 - ヘルパーステーションの仕事のぞいてみましょう
ヘルパーステーションすずらん本部(平和島) 小松 裕子
共同研究者 榎田 政代
 - 矢口都営住宅の状況について
うのき・雪谷支部 工藤人喜江
 - 新病院の医療構想について
大田病院院長 田村 直



すずらん小松さん

実習生を受け入れることでヘルパーの質の向上と学習を考えています。また子どもたちにヘルパーの素晴らしさを実感してもら

◎中学生・高校生の実習受け入れ
 ずずらんでは利用者一人ひとりの笑顔を大切に考えているので、まずはヘルパーから笑顔になれる工夫をしています。

◎この笑顔を見てください
 少しずつではありますが、テレビで放映されているのは大変で汚い仕事のように言われてい



綿貫みちづか所長と植田専務理事



ゆたか診・小坂看護師



石川さん

◎ヘルパー同士の技術研修
 日々の業務に追われていますが、時間をつくりヘルパー同士の技術向上をめざしています。

◎利用者家族の声
 家族からありがたい声をいただいています。日々の努力がわかってもらえたとうれしく思っています。また言っていた

◎手洗い・おむつ交換の工夫
 寝たきりの方でも手を洗うことは大切です。細菌がつかないように毎日洗えることが必要です。おむつも区からの支給では足りない方が多いので、工夫をしてなるべく使わないようにしています。また吸力の良い商品の提案などもさせてもらっています。

◎おいしい食事づくり
 利用者の口に合うような食事の提供ができるよう努力をしています。男性スタッフもい



神田さん

「蟻の兵隊」は2年ぐら前に自主上映されました。1945年8月15日、日本の敗戦で中国に残された日本兵を描いたドキュメンタリー映画です。日本軍国主義による中国侵略の時代、中国は国民党と共産党が互いに対立し、日本軍と戦いながら、もうひとつの内戦をくり広げていました。やがて中国国民の意識の高まりに合わせて「抗日救国」のスローガンの下に国共合作が成り、やがて8月15日を迎えました▼日本の敗戦を期に国共内戦は再開されます。そのとき日本軍の指揮官たちは現地での戦犯裁判を恐れて国民党軍に日本の兵士を売り渡し、自らは日本に逃げ帰ったのです。旧満州でも軍の高官は一般の兵士や開拓民を置き去りにして帰国しています。国民党軍に編入された旧日本軍兵士は、日本軍の遺棄した兵器で八路軍と戦うことになりました。これが蟻の兵隊です▼国共内戦は中国国民の圧倒的支持を受けていた八路軍の勝利で終結し、1949年中国に共産党政権が成立します。蟻の兵隊の多くが八路軍の捕虜になりました。60年後の今年10月、蟻の兵隊の跡をたどる旅がありました。城南の地域に生存する元兵士も参加しました。元兵士にとっては贖罪の旅であり、他の参加者にとっては発見の旅でした▼中国に置き去りにされた人々の実体に触れると、遺棄した側人間が浮かびあがってきます。戦争遂行勢力であり、そして戦争責任を逃れてきた連中です。かの勢力は支配層と結びつき、今も歴史の改竄を目論んでいます。

「おいしい食事づくり」利用者の口に合うような食事の提供ができるよう努力をしています。男性スタッフもい

「手洗い・おむつ交換の工夫」寝たきりの方でも手を洗うことは大切です。細菌がつかないように毎日洗えることが必要です。おむつも区からの支給では足りない方が多いので、工夫をしてなるべく使わないようにしています。また吸力の良い商品の提案などもさせてもらっています。

「利用者家族の声」家族からありがたい声をいただいています。日々の努力がわかってもらえたとうれしく思っています。また言っていた

「ヘルパー同士の技術研修」日々の業務に追われていますが、時間をつくりヘルパー同士の技術向上をめざしています。

「この笑顔を見てください」少しずつではありますが、テレビで放映されているのは大変で汚い仕事のように言われてい

「中学生・高校生の実習受け入れ」ずずらんでは利用者一人ひとりの笑顔を大切に考えているので、まずはヘルパーから笑顔になれる工夫をしています。

「演題」

- 介護ショップらくだのとくみ
介護ショップらくだ 小川 一八
- グループホーム虹の家のとくみ
みちづか所長 綿貫有三子
- 定年退職後はボランティア活動を
大森・糀谷支部 石川 八郎
- 自宅療養生活の継続を希望する独居・認知症患者との関わりを通して
ゆたか診療所看護師 土井・齋藤・小坂
- 地域に広がるまちかど健康チェックのとくみ
海岸八潮支部・看護師 神田 瑞穂
- リハビリテーションってどんな仕事?
大田病院リハビリテーション科 澤田香奈子
- 紹介します。大田病院の看護活動
大田病院総看護師長 黒沼 浩子
- 若返り班の健康づくり活動
大田病院副看護部長 大澤千恵子
- 素敵な笑顔に出会えて
大森西訪問看護ステーション看護師 小川 律子
- 大田歯科における往診活動
大田歯科医師 疋田 博昭
- ヘルパーステーションの仕事のぞいてみましょう
ヘルパーステーションすずらん本部(平和島) 小松 裕子
共同研究者 榎田 政代
- 矢口都営住宅の状況について
うのき・雪谷支部 工藤人喜江
- 新病院の医療構想について
大田病院院長 田村 直